

第52回 東京都空手道選手権大会 実施要項

- 1 名称 第52回東京都空手道選手権大会
2 主催 (一社)東京都空手道連盟
3 主管 (一社)東京都空手道連盟
4 後援 (公財)全日本空手道連盟 東京都教育委員会(予定) (公財)東京都体育協会(予定)
5 場所 東京武道館 東京都足立区綾瀬3-20-1 (東京メトロ千代田線 綾瀬駅東口 徒歩5分)
TEL. 03-5697-2111(代)
6 日時 2022年 6月 5日(日) ※形競技団体戦は、形競技個人戦終了後に行う。
・大会係員・役員・審判員集合 8時00分 ・審判会議 8時40分
【少年・マスターズ女子の部・一般 団体戦(形競技)】
(1)入館開始 8時15分～(予定)
(2)選手点呼 8時45分～(予定)
(3)開始式 9時00分～(予定) (4)競技開始 9時15分～(予定)
【一般 個人戦(形・組手)・マスターズ男子の部】
(1)入館開始 12時15分～(予定)
(2)選手点呼 12時35分～(予定)
(3)開始式 12時50分～(予定) (4)競技開始 13時00分～(予定)

7 第52回東京都空手道選手権大会における新型コロナウイルス感染防止対策について

安全に大会運営するために、全空連の感染拡大防止ガイドライン(大会用)に沿って、実施場所と入館者全員に対して、「対策及び制限」を設けます。

なお、完全な感染防止対策ではありませんのでご理解・ご協力をお願いいたします。

(1) コロナウイルス感染を疑われる症状の場合は、この大会に出場できません。来場をご遠慮下さい。

ア 平熱を超える発熱(おおむね37.5℃)があり、新型コロナウイルス感染の疑いがある者

イ 咳・喉の痛みなどにより新型コロナウイルス感染の疑いがある者

ウ だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)などにより新型コロナウイルス感染の疑いがある者

エ 嗅覚や味覚に異常があり、新型コロナウイルス感染の疑いがある者

オ 体が重く感じ、疲れやすいなどにより、新型コロナウイルス感染の疑いがある者

カ 新型コロナウイルス感染症陽性者とされた者との濃厚接触者

キ 新型コロナウイルス感染が疑われる同居家族や身近知人との濃厚接触者

ク 14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触者

(2) 当該大会への入館者全員は、入館時に指定の「連絡先確認用紙兼健康管理チェックシート」を提出すること。

(3) 入館者全員は、入館用出入口にて以下を励行願います。

ア 入り口で入館時のアルコール消毒を行う。

イ 入り口で係員が非接触体温計で検温とチェックを行う。検温により37.5℃以上ある者は入館及び競技に出場できない。

ウ 入り口で規定の服装や感染防止具の保持及び装着のチェックを受けて入館する。

エ 「再入館」は認められませんので、万全の準備をして入館してください。

(4) 原則的に、「無観客試合」とする。但し、出場選手1名に対し帯同者1名の入館を認める。

(5) 入館口 ア 正面口 : 来賓・役員・審判員・係員 イ 南入り口 : 選手・帯同者

(6) 出館口 ア 正面口 : 来賓・役員・審判員・係員 イ 北側出口 : 選手・帯同者

(7) 次試合出場選手・チームの点呼・招集場所は、大武道場内・南側コートサイド付近に設定を予定しています。

(8) 館内通行は「一方通行」を遵守願います。

試合場(大武道場) 専用西側入り口 ⇒ 一方通行 ⇒ 試合場(大武道場) 専用北側出口

(9) 新型コロナウイルス感染防止用装着品(競技用「服装」及び「安全具」は別途事項) *「マスク」は白色限定とする。

ア 入館者全員 : 館内にて「マスク」は、常時装着を励行する。

イ 出場選手 : 試合場(コート)においてのみ外して、自己管理する。競技場を離れる時は装着する。

ウ 審判員 : 試合場(コート)においては、「マスク」と「フェイスガード」に加えて「白色手袋」を装着する。

※上記装着品は、各自でご準備ください。

(10) 次試合点呼・招集場及び主競技場(大武道場)への入場者制限

ア 出場選手だけが入場できる。

イ 帯同者は、指定の「観客席」にだけ入場できる。それ以外の場所に立ち入ることは禁止されている。

8 競技種目

(1)一般男子の部 ア 形競技個人戦

イ 組手競技個人戦

(ア)軽量級の部 = 65Kgに満たない体重のクラス

(イ)中量級の部 = 65Kg～75Kgに満たない体重のクラス

(ウ)重量級の部 = 75Kgを超える体重のクラス

- | | | |
|-------------|----------|-----------|
| (2)一般女子の部 | ア 形競技個人戦 | イ 組手競技個人戦 |
| (3)少年男子の部 | ア 形競技個人戦 | イ 組手競技個人戦 |
| (4)少年女子の部 | ア 形競技個人戦 | イ 組手競技個人戦 |
| (5)形競技団体戦の部 | | |

- | | | |
|--------------|----------------|----------------|
| (6)マスターズ男子の部 | ア 形競技個人戦 | イ 組手競技個人戦 |
| | (ア)第1部(40～49歳) | (ア)第1部(40～44歳) |
| | (イ)第2部(50～59歳) | (イ)第2部(45～49歳) |
| | (ウ)第3部(60～69歳) | (ウ)第3部(50～54歳) |
| | (エ)第3部(70歳以上) | (エ)第4部(55～59歳) |
| | | (オ)第5部(60～64歳) |
| | | (カ)第6部(65～69歳) |
| | | (キ)第7部(70歳以上) |

- | | | |
|--------------|----------------|----------------|
| (7)マスターズ女子の部 | ア 形競技個人戦 | イ 組手競技個人戦 |
| | (ア)第1部(35～44歳) | (ア)第1部(35～39歳) |
| | (イ)第2部(45～54歳) | (イ)第2部(40～44歳) |
| | (ウ)第3部(55歳以上) | (ウ)第3部(45～49歳) |
| | | (エ)第4部(50～54歳) |
| | | (オ)第5部(55歳以上) |

9 競技規定 (公財)全日本空手道連盟 ・ 空手競技規定 に準じて、大会要項により行う。

10 競技方法 と 形の選定

少年 ・ 一般 部門

(1)形競技個人戦

- ① 敗者復活戦は行わない。
- ② 3位(2名)決定戦は行わない。(「優先3位決定戦」も行わない。)
- ③ 予選・準決勝・メダルマッチ(3位決定戦・決勝戦)の順に競技を行う。
- ④ 予選は、「フラッグ方式」の「トーナメント」で8名残しまで、赤青2名同時に演武する。
- ⑤ 準決勝は、各4名の2ブロックに分けて、各ブロックの1位通過者～4位通過者の順位決めを行なう。
- ⑥ 準決勝では、2ブロックの一方ブロックの2位通過者 VS 他方ブロックの3位通過者による2対戦を行う。
- ⑦ 準決勝とメダルマッチ(3位決定戦と決勝戦)は、「採点方式」で、赤青1名ずつ演武する。
- ⑧ 準決勝とメダルマッチは、形1つを演武し、得点が与えられる。各戦の得点は以降の競技に持ち越さない。
- ⑨ 準決勝とメダルマッチの演武順は、都度審判コート長による「クジ引き」で決定(予定)する。
- ⑩ 決勝戦は、準決勝における2ブロックの各1位通過者同士2名によって行う。
- ⑪ 予選・準決勝・メダルマッチまで、「形エントリーシート」を採用して、規定通りに運用する。
 - * 競技開始に当たって、指定事項を記入した「形エントリーシート」をコート係員に提出する。
 - * 当該「形エントリーシート」は、各審判コート長が管理及びチェックのために運用する。
 - * 各試合後の勝者は、審判コート長から各自の当該シートを受け取って次試合に再提出・運用する。
- ⑫ 形競技個人戦における形の選定
 - (ア)予選では、全空連第1指定形もしくは第2指定形の中から選ばなければならない。
 - (イ)準決勝は、全空連第1・第2指定形及び「全空連得意形リスト」の中から選んで演武する。
 - (ウ)決勝戦では、「全空連得意形リスト」の中から選ばなければならない。
 - (エ)予選から決勝戦まで、一度演武した形は演武することはできない。

(2)組手競技個人戦

- ① トーナメント方式にて行う。
- ② 敗者復活戦は行わない。
- ③ 3位決定戦を行う。
- ④ 競技時間と勝敗
 - (ア)少年・一般の部 : 1回戦～準決勝・3位決定戦の競技時間は、男子2分間、女子2分間 フルタイムとし、勝敗は6ポイント差がついた時又は競技時間終了時ポイント数多い選手が勝者となる。
 - (イ)決勝戦は、一般の部 : 3分間フルタイム 少年の部 : 2分間フルタイム とし、勝敗は8ポイント差がついた時又は競技時間終了時ポイント数の多い選手 が勝者となる。
- ⑤ 一般男子の部は、以下の選手残数になった時点で、係員の指示で必ず計量検査を受ける。
 - ・軽量級 32名 ・中量級 16名 ・重量級 8名
 - ※但し、各クラスの出場人数によって計量受検対象者数がある場合がある。

(3)形競技団体戦

- ① 敗者復活戦は行わない。
- ② 3位決定戦は行わない。
- ③ 「採点方式」にて行なう。
- ④ 競技チーム数が2チームの場合は、決勝戦として行なう。
- ⑤ 競技チームが3チーム以上の場合は、予選、決勝戦の順に競技を行なう。
- ⑥ 予選、決勝戦は、1チームずつが演武して競技する。
- ⑦ 各競技チームは、形1つを演武し、得点が与えられる。
- ⑧ 予選の得点は決勝戦に持ち越さない。
- ⑨ 1チーム3名で演武して競技する。3名のうち1名が欠けた場合は出場できない。
チームの編成は、正3名 と 補欠1名 の4名までとし、16歳以上の性別・階級は自由とする。
- ⑩ 「形エントリーシート」を採用して、規定通りに運用する。
 - * 競技開始に当たって、指定事項を記入した「形エントリーシート」をコート係員に提出する。
 - * 当該「形エントリーシート」は、各審判コート長が管理及びチェックのために運用する。
 - * 各試合後の勝者は、審判コート長から各自の当該シートを受け取って次試合に再提出・運用する。
- ⑪ 形競技団体戦における形の選定
 - (ア)予選は、全空連第1指定形もしくは第2指定形の中から選ばなければならない。
 - (イ)決勝戦は、全空連第1指定形もしくは第2指定形及び「全空連得意形リスト」の中から選んで演武する。
 - (ウ)一度演武した形は繰り返し演武することはできない。

※形競技団体戦選手登録は、4月22日(金)を〆切り期限とする。登録選手の入れ替えは大会当日の開会式時まで可とするが、必ず書面にて変更を申し出る。

マスターズ 部門

(1)形競技個人戦

- ① 敗者復活戦は行わない。
- ② 3位決定戦を行う。
- ③ 1回戦から決勝戦まで、「採点方式」で行う。
- ④ 予選は、赤青2名同時に演武する。3位決定戦と決勝戦は、赤青の1名ずつ演武する。
- ⑤ 決勝戦は、全てのカテゴリーを一つのコートで、形競技最終時程に行う予定とする。
- ⑥ 1回戦から決勝戦まで、「形エントリーシート」を採用して、規定通りに運用する。
 - * 競技開始に当たって、指定事項を記入した「形エントリーシート」をコート係員に提出する。
 - * 当該「形エントリーシート」は、各審判コート長が管理及びチェックのために運用する。
 - * 各試合後の勝者は、審判コート長から各自の当該シートを受け取って次試合に再提出・運用する。
- ⑦ 形競技個人戦における形の選定
 - (ア)選手は、回戦ごとに異なる形を演じなければならない。
 - (イ)参加選手5名以上 ⇒ 1回戦 : 全空連第一指定形 2回戦 : 全空連第二指定形 3回戦以降 : 全空連得意形リスト中の得意形 の中から選択し演武する。
 - (ウ)参加者4名以下の場合 ⇒ 1回戦 : 全空連第一又は第二指定形 決勝及び3位決定戦 : 全空連得意形リスト中の得意形 の中から選択し演武する。

(2)組手競技個人戦

- ① トーナメント方式にて行う。但し、参加者が3名以下の場合、リーグ戦(総当たり方式)にて行う。
- ② 敗者復活戦は行わない。
- ③ 3位決定戦を行う。
- ④ 競技時間と勝敗
 - (ア)1回戦～決勝戦・3位決定戦の競技時間は、男子2分間、女子2分間 フルタイムとする。
 - (イ)1回戦～決勝戦・3位決定戦の勝敗は、競技時間内に6ポイント差がついた時又は競技時間終了時ポイント数の多い選手が勝者となる。

11 国体出場選手選考

2022年度の形・組手競技の国体出場選手は、選考委員会において選考し、理事会において決定する。

12 上位マスターズ大会の出場者(選手選考)

(1)関東マスターズ大会

1. 男子組手1～4部 各4名(計16名)
2. 男子組手5～7部 及び 男子形1～4部 各2名(計14名)
3. 女子組手1～5部 及び 女子形1～3部 各2名(計16名)

※選考は成績順とする。5位は、優勝者～4位者の準々決勝戦対戦者により順位付けを行う。

(2)日本マスターズ大会

男子全体枠:15名 女子全体枠:10名

1. 各種目(男子11部・女子8部)の優勝者とする。

優勝者が辞退した場合は、準優勝者とする。準優勝者が辞退した場合は、3位者とする(以下、同じ)。なお、準優勝以下の繰上げ選考は、以下の(2)に優先する。

2. 残り枠(男子4名・女子2名)については、全種目(男子11部・女子8部)の準優勝者の中から以下の順位により決定する。

①前回の日本マスターズの優勝者

②本大会においてエントリー人数が多い種目。

13 審判員 審判員は、(一社)東京都空手道連盟公認審判員編成団による。

14 傷害処置及び対策

(1)出場者には傷害保険に一括加入していますが、補償額は傷害の度合いによって十分ではありません。

よって、補償補填のため出場者個人において別途傷害保険に加入していただくことを推奨いたします。

<参考> (公財)スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」や「公認スポーツ指導者総合保険」等をご参考下さい。

(2)選手は本大会前1週間以内に各自の責任に於いて健康診断を受け、医師の許可を受けておく。

(3)出場者が競技中に負傷した場合は、主催者において応急措置を行う。

(4)本大会には必ず保険証を持参する。

15 参加資格

(1)(一社)東京都空手道連盟、かつ(公財)全日本空手道連盟の会員であること。

(2)一般男女の部出場選手は、黒帯保持者又は有段者(会派段位可)とする。少年の部はこの限りではない。

(3)マスターズ部門出場者は、(公財)全日本空手道連盟の「公認段位」を保有していること。

(4)マスターズ部門の出場カテゴリー区分は、開催年度の「4月1日現在の満年齢」です。ご留意のうえお申込み下さい。

<注意事項>身体障害者手帳、療育手帳または精神障害保険福祉手帳の所有者の参加出場については、予め都空連事務局にご相談願います。

16 参加申込と参加出場費

*「参加申込書(エクセルファイル)」は、予め都空連事務局から区都市連盟にPCメール配信又はメディアで提供します。

*参加出場費 個人戦 : 1種目1名につき 3,000円 (2種目出場者は、6,000円/1名)

*少年・一般・マスターズ部門 全て同じ出場費です。

形競技団体戦 : 1チームにつき 4,000円

*「参加申込書」配信と「参加出場費」送金の〆切期限は、2022年 4月22日(金)まで 必着とする。

(1)「参加申込書」: 都空連事務局への「電子データ申込書」の配信に限定する。

※各区都市連盟で一括して申し込むこと。

(2)「参加出場費」: 下記指定振り込み口座に振り込み送金に限定する。

① コロナ禍の影響による「中止」等々の事態に備えて「送金」を直前まで控え、5月27日(金)最終〆切期限とします。

② 指定振り込み口座

三井住友銀行 目黒支店 普通 7313328 名義 (一社)東京都空手道連盟

* 振り込み依頼人名 ⇒ 「区都市名 センシュケン」として下さい。

例 : 新宿区連盟の場合 「シンジユク センシュケン」

17 申込み確認

申込み〆切期限の 4月22日(金)から概ね二週間以内に、都空連事務局から区都市連盟宛てに、「種目別出場選手リスト」と「種目別ゼッケン番号」が配信されるので、内容と「ゼッケン番号」を各連盟で責任をもって確認及び通達する。

18 その他

(1)組手競技の安全具 ※全空連の「ガイドライン」に従って、組手安全具の貸し借りは認めない

※「安全具」は、必ず指定のものを各自用意・準備する。貸し借りは認めない。

※「安全具」は、WKF・JKF・高体連・学連の各検定・指定・認定・公認品とする。

なお、赤・青色の安全具の場合、各コーナー色(赤又は青)の安全具を使用する。

※メンホーは、「JKFメンホーV型以上」とする。(JKFメンホーI~IV型は不可。)

※WKF拳サポーターは、「親指カバー」付きのものとする。(「親指カバー」無しのは使用不可。)

① 全種目 : (ア)メンホー、拳サポーター(赤・青)を装着する。(必着)

※JKFメンホーの「開口部」は、制定「メンホー用マウスシールド」を貼着する。(必須)

※拳サポーターは、赤・青色が薄れていないこと。

(イ)胸プロテクターを空手衣の中に着用する。(必着)

- ② 少年男子・一般男子：ファールアップを空手衣の中に着用する。(必着)
- ③ 少年男女並びに一般男女の部及びマスターズ男女部門の組手出場選手は、インステップガードとシンガードを着用する。(必着)

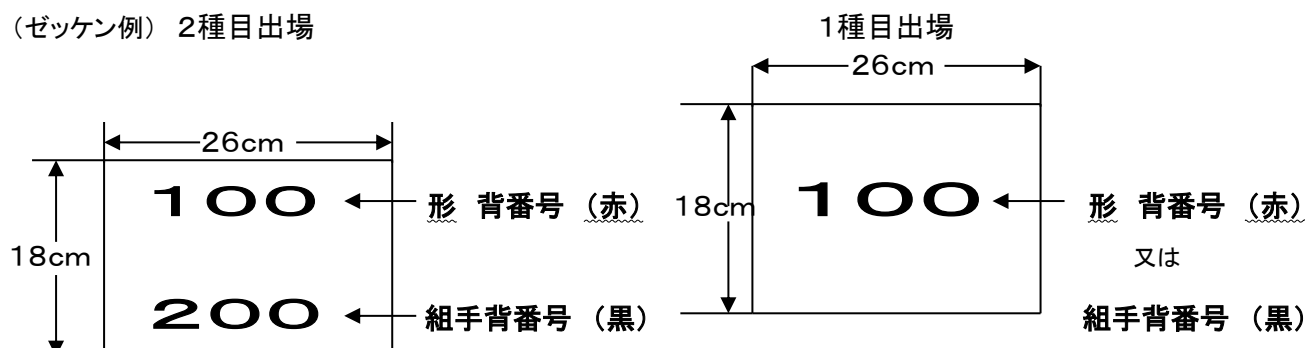
- (2) 服装 ※全空連の「ガイドライン」に従って、帯並びにヒモ及び装備品の貸し借りは認めない。
- ① 清潔な白色の空手衣で、胸・腕マーク等一切入らぬもの。(マーク等は白布縫い付けで覆う)
 - ② 形競技団体戦は、区郡市名入りの胸マーク以外は認めない。また、金属類（指輪、ネックレス、ピアス、ヘアバンド、ヘアピン等）の着用は認めない。
 - ③ 女子の空手衣の下は、必ず白色無地のTシャツを着用する。
 - ④ 空手道上衣のヒモは結ぶこととする。
 - ⑤ 空手衣の長さ(上着・ズボン)は、ルールに従うこと。
 - ⑥ 自分の赤・青帯（JKF・WKF 検定品）を各自で用意すること。

競技者の服装ルール（抜粋参考）

- ・JKF 理事会によって許可された以外のストライプ、ふち飾り等のない白の空手着を着用する。
- ・髪を1つに束ねるための目立たないゴムバンドは2つまで認められる。
- ・帯の長さは、結び目の両端から約15cm残る長さとする。但し、大腿部の4分の3以下の長さとする。
- ・上着の袖の長さは手首までとし、前腕の中程より短くしてはならない。上着の袖をまくってはいけない。
- ・ズボンの長さは、すくなくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし、踝がかくれてはならない。又、裾をまくり上げてはならない。

- (3) ゼッケン
- ① ゼッケンは下記の要領にて各自で用意する。
 - ② 背番号は決定後、各連盟理事長宛て通知する。
 - ③ ゼッケンは、荒縫いでも全面縫い付けとする。(四方角点縫いやテープ接着は不可。)
 - ④ サイズは下記寸法 = 約 B5判横型 とし、番号を以下の要領で記入する。
「形」背番号を「上に赤文字」 「組手」背番号を「下に黒文字」

(ゼッケン例) 2種目出場



- (4) 出場不適当と思われる選手は、出場させないことがある。
- (5) 出場選手は空手衣にて、開会式と閉会式には全員必ず参加しなければならない。
- (6) 組手競技のみに出場する選手も、開始式10分前までに競技場に入り、空手衣で開会式に参加する。
- (7) 各コートでの呼び出し時間に遅れた場合は、棄権とみなしますので特に注意をする
- (8) 理由もなく表彰式を欠席した各種目の入賞者は、原則として棄権となるので注意する。
- (9) 選手は「都空連会員証」提示により 又 許可される帯同者は「入館証」と「都空連会員証」提示による入場方式となっています。従って、入館者全員が2022年度「都空連会員証」及び「入館証」を忘れずに携帯・提示して入場して下さい。

* 不保持者は、当日新規登録又は再登録が必要となりますので、ご理解のうえ重々ご承知置き願います。

- (10) 東京武道館は、当該大会用駐車場はありません。

(11) カメラ(停止画)・ビデオ(動画)の撮影について

- ① 撮影は許可されるが、「フラッシュ撮影」全館において厳禁です。
- ② 試合場(大武道場)における撮影には、三脚等の設置は禁止です。
- ③ 撮影は認められるが、特にビデオ(動画)を参考提示・提出による「抗議」は一切認めない。

(12) 「観客席」について

コロナ感染症拡大防止のため、観客席の目安として「区郡市札」を掲示する予定です。
予め区郡市連盟宛てに通知及び会場に「区郡市札」を掲示しますので、指定された席をご利用ください。

(13)「大会動画配信」について

この大会は、応援に来られない方のために、会員限定で動画をオンライン配信します。
又、「決勝戦」の動画をHPにアップします。
大会参加申込書の提出により配信に承諾いただいたものとして対応します。
質問のある方は下記まで連絡して下さい。
広報委員長 栗栖 肇 携帯：090-9840-5389。

19 コート係員派遣について

重要

都空連主催の各種大会への係員ご派遣は、本年度中1回だけで、各担当区郡市につき6名をお願いしています。
大会のスムーズな運営には1名も欠かせません。各区郡市連盟は大変な負担ですがご協力をお願いします。
(担当区郡市の順番は、都民大会の組合せ抽選結果を基本に決定し、適時区郡市理事長様に通知しています。)

集合日時：2022年 6月 5日(日) 午前 8時00分 時間厳守
集合場所：東京武道館 主競技場 本部席前

* 派遣係員は、空手道経験者と競技コート係員経験者を優先してご派遣願います。

* 派遣係員6名中、「区郡市審判員以上資格保持者」1名以上を含む派遣が望ましい。

* 派遣係員は、高校生以上(中学生以下は不可)とし、大会にふさわしくない服装(ジーパン、短パン、超ミニなど)はご遠慮下さい。

* 派遣係員は、当日には「上履きと印鑑」を必ず持参して下さい。特に「印鑑不持参」の場合、「派遣員の交通費」が支払えないことがありますので厳守願います。